

平成26年度 港湾振興費の内三河港利用促進戦略検討調査業務委託 実施概要 (愛知県三河港務所 委託事業)

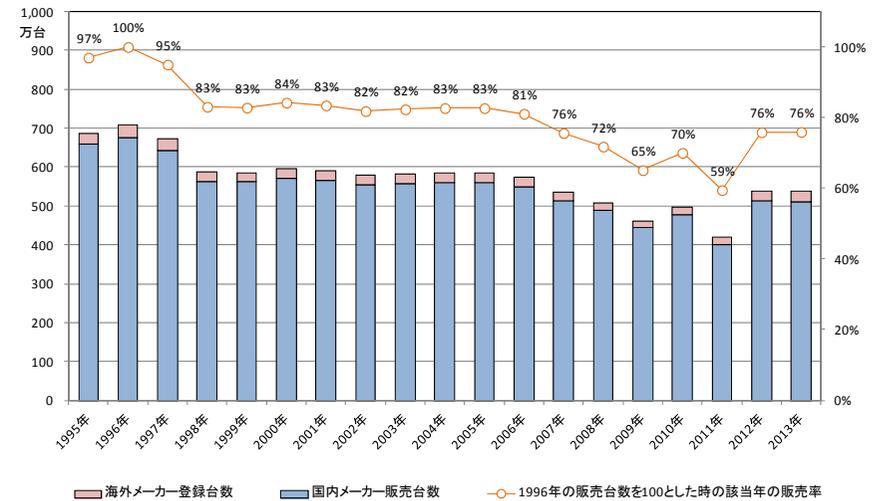
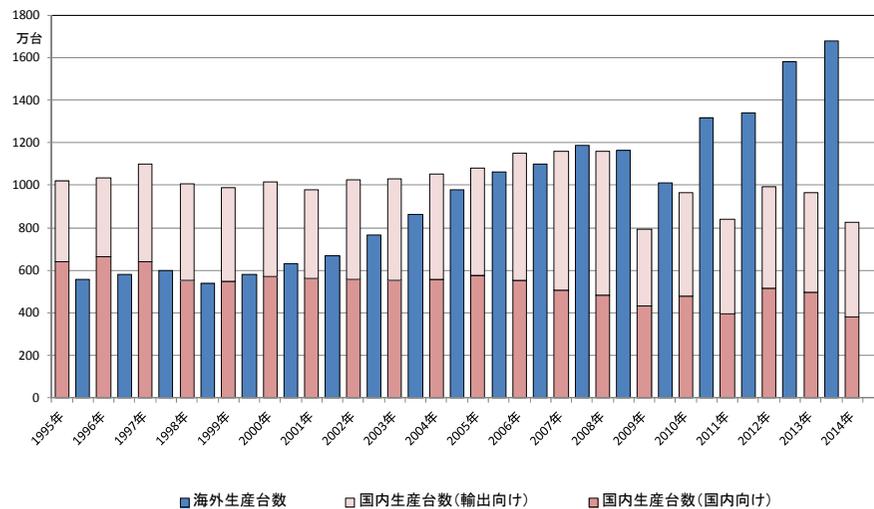
1. 業務の目的

三河港に立地する輸入車インポーターおよび国産メーカーの三河港利用状況や、完成車の海上・陸上の物流実態を把握し、三河港取扱い完成車の今後の動向を把握するとともに三河港における物流拠点の新たな可能性や港湾振興策を検討した。

2. 業務の概要

完成車(乗用車)を扱う主要な国内メーカー、インポーター、港運事業者へ聞き取り等を必要に応じて実施し、完成車の流動実態や今後の動向等を整理した。また、貿易統計、日本自動車工業会、日本輸入車組合等の資料、三河港港湾統計資料基礎データの活用等により、輸入車および国内メーカーに関する生産・販売・貿易の状況、業務・技術等の提携、OEM等の企業関係等を整理した。

3. 業務の結果(一部抜粋)



■日本の主要自動車メーカーの国内生産台数と海外生産台数の変化

日本の自動車メーカーの生産台数は、1995年時点の国内生産台数は1,019万台、海外生産台数は556万台であった。その後、海外市場の拡大に応じて海外生産台数が急激に増加した。

■日本の自動車販売台数の推移

日本国内の販売台数は、2013年には537万台となった。1996年に708万台を記録して以降減少している。2011年の東日本大震災以降は、台数の回復がみられるが、1996年時点の販売台数を100%とすると、2013年は76%に留まっている。